

MCI
進行抑制
治療

ホモシステインと炎症の
コントロール

HIC :
Homocysteine and
Inflammation Control

治療説明書



一般社団法人 日本老化制御医学会

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビル 21 階
TEL: 03-5403-6351 FAX: 03-5403-6441
<https://roukaseigyo.jp/>

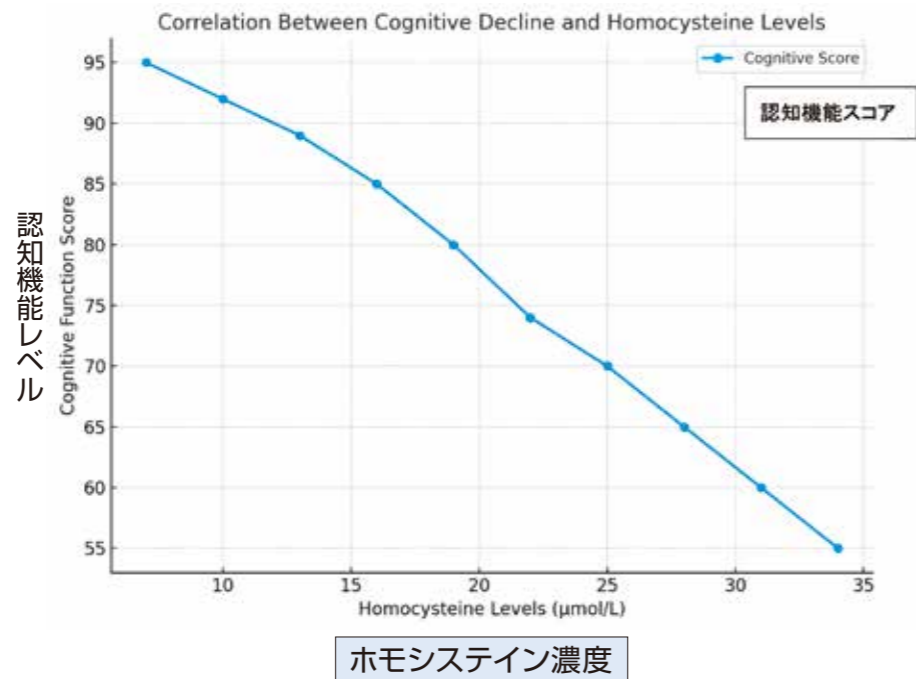
監修：一般社団法人 日本老化制御医学会

ホモシステインのコントロール

ホモシステイン値が高い状態だと**脳と血管にダメージを与え続け、認知機能の低下と海馬の縮小を招き、症状を悪化させる**ので、正常値まで下げることが重要です。

ホモシステイン値	13以上	認知症が疑われる
	13~7	認知症予備軍
	7以下	正常(認知症になる可能性はない。)

(図1) 認知機能低下とホモシステイン濃度の相関関係



ホモシステイン濃度が高くなると認知機能が低下することを示している。

①ホモシステインの正常化

ホモシステイン値を正常にするには、ビタミンB6、ビタミンB12、葉酸(ビタミンB9)などのビタミンB群を高容量で摂取することが有効です。高齢者の脳委縮の進行抑制に効果があったことが英国の研究チームにより報告されています。

ビタミンB群の治療用摂取量の食品換算表

栄養素	認知症対策に必要な量	食品換算量(日)	
ビタミンB6	20mg/日	バナナ	5,400g
ビタミンB12	500μg/日	鶏卵	830個
葉酸	800μg/日	ほうれん草	5束

②投与方法

これらの栄養素を食品から摂取するのは非現実的なので、下記の薬剤による投与となります。

薬剤名:デメケア。

高容量のビタミンB群(1カプセル/日)

ビタミンB2	3mg
ビタミンB3 (代謝産物β-NMN)	125mg
ビタミンB6	20mg
ビタミンB9 (5-MTHF葉酸)	800μg
ビタミンB12	500μg

投与方法

1日1回。1カプセル
朝食後に水または温水で服用。

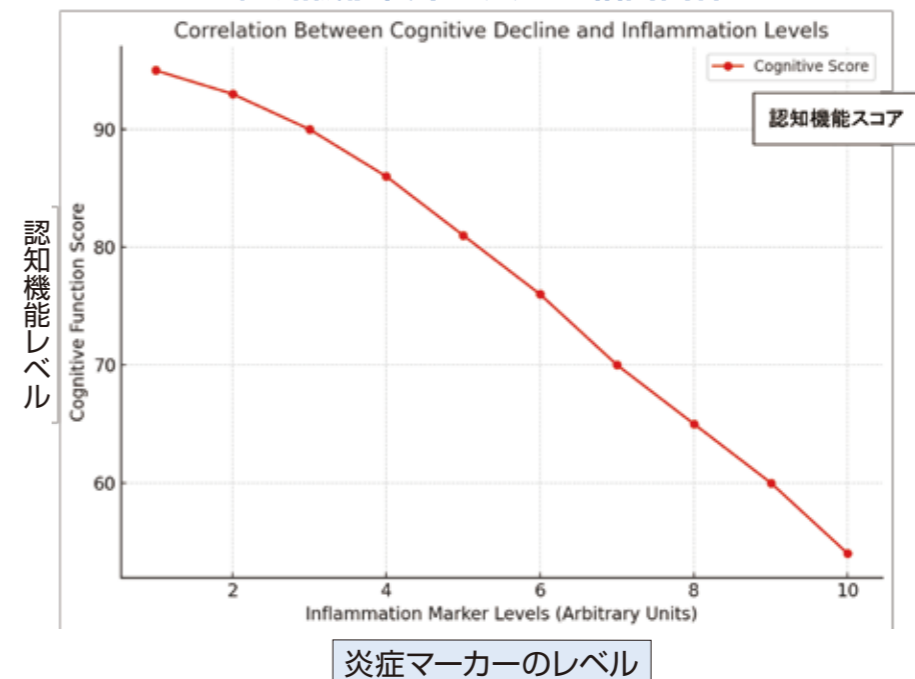
炎症のコントロール

炎症は、認知症の発症と進行において危険な存在であることから、抑制することが大切です。

炎症と認知症の関連性

1.神経炎症	神経炎症は認知症の重要な特徴であり、神経細胞の損傷や死につながる可能性があります。特に、アルツハイマー病においては、アミロイドβ(Aβ)プラークの蓄積とタウタンパクの異常なリン酸化が神経炎症を誘発し、これが神経細胞損傷を引き起こす原因とされています。
2.サイトカインの上昇	認知症患者では、炎症性サイトカイン(例えば、IL-1β、TNF-α、IL-6など)のレベルが高くなるのがしばしば報告されています。これらのサイトカインは神経炎症を促進し、認知機能の低下を加速させることが知られています。
3.微小血管疾患と炎症	脳内の微小血管疾患も認知症のリスク要因であり、これに伴う慢性的な炎症反応が認知機能の低下を引き起こします。
4.免疫応答の異常	認知症の患者では、免疫応答が過剰または不適切になることがあります。これが炎症の持続や神経細胞の損傷につながります。

(図2) 認知機能低下と炎症の相関関係



体内で炎症が増えると認知機能が低下することを示している。

①炎症レベルの引き下げ(体内水素発生剤の投与効果。)

炎症の抑制と抗炎症作用	水素の抗炎症作用はMCIの進行抑制に寄与します。
抗酸化作用と酸化ストレス軽減	水素は非常に小さな分子で血液脳関門を通過して脳内にも拡散し、特にヒドロキシルラジカル(・OH)などの強力な活性酸素種(ROS)を選択的に除去します。
ミトコンドリア機能の維持とサポート	水素はミトコンドリアの過剰な酸化による損傷を防ぎ、ATP生成プロセスを安定させます。これにより、NAD+の増加によるエネルギー代謝の改善を持続させます。

②投与方法

水素は確実な摂取のため体内発生型を用います。

薬剤名:ソレザウス。

投与方法

1日1回。1カプセル
夕食後に水または温水で服用。